

島根県立益田高等学校
PTA学校行事・広報部会
益田市七尾町1-17
☎ 0856-22-0044

第六十七回中国・四国地区高等学校

PTA連合会大会（島根大会）に参加して

PTA監事 阿知波伸二郎



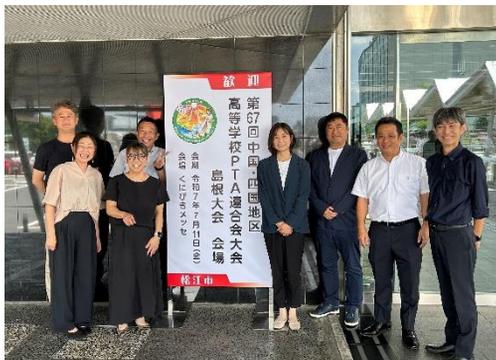
七月十一日
（金）に松江市のくにびきメッセで開催された第六十七回中国・四国地区高等学校PTA連合会島根県大会に、本校より十名のPTA

役員で参加してきました。

開会行事に続き、記念講演ではメカニックデザイナー山根公利氏の「ITから生まれる人の幸せとは何か」を拝聴し、技術の進化と人の感性の関わりについて深く考えさせられました。AIやデジタル技術が発展する中で、最後に人を動かすのは人の心であるという言葉が印象的でした。午後の部では、県内高校生による活動発表があり、石見神楽、ダンス、和太鼓など、それぞれの個性と地域文化を生かした素晴らしい演技が披露されました。力強い太鼓の響き、躍動感あふれるダンス、伝統を受け継ぐ神楽の舞に感動し、生徒一人ひとり

の真剣な姿勢に胸を打たれました。その後の研究協議では、各県・各校の具体的な取り組みや課題が紹介され、PTA活動のあり方について多くの学びを得ることができました。

最後に閉会行事があり、次年度の開催県である香川県への引継ぎが行われ島根大会が終了しました。以上、報告とします。



第七十四回全国高等学校PTA連合会大会

三重大会の報告

校長 山崎 秀雄

八月二十一日（木）～二十二日（金）、「出会いはじまる常若のくに」『集い、想い、継ぐ』三つの重なる明日への力』をテーマに、三重県津市に全国のPTA関係者約六千人が集いました。エントランスには、地元の高校による自校開発のお菓子や農産物等の出店が並び、高校生たちの活気あふれる呼び込みの声が飛び交いました。「高校生レストラン」で有名な相可高校の出店では、アリーナ

での感動的なプレゼンの効果もあり、手作りのお弁当を求める長蛇の列ができました。会場では四日市商業高校ギター・マンドリン部の素敵な演奏を皮切りに、様々な講演が行われました。心に残った言葉を記し、報告とさせていただきます。



①【子どもの人権】

「あなたはと思う？」と大人に話を聞いてもらう経験を重ねることで、初めて子どもは自分が何を考えているかを言語化できるようになり、「自分の意志」や「主体性」が育っていく。人は、自分を愛している分だけ、人を愛することができる。自分を信じている分だけ、人を信じていることができる。（三重子どもNPOサポートセンター理事長・田部眞樹子さん）

②【想いを繋げるコミュニケーション】

人は、かけられる「言葉」によって脳内にイメージが描かれる。否定的な言葉は失敗やミスを脳内にイメージさせる。肯定的な言葉を使い、子どもが「最善のイメージ」を描けるトークを。（トレーナーズスクエア代表取締役社長・岩崎由純さん）

③【尊厳は明日の力】

あずきバー誕生秘話。他社のまねではなく、自社の強みを生かす。社会全体のことを考えられる、社会性のある子どもたちを育ててほしい。人生でぶつかるすべての「壁」は「扉」であり、その「鍵」はいつもあなたの手にある。（井村屋代表取締役会長・中島伸子さん）

就活応援バスツアー（おとなの社会見学）に参加してみた！

二年生保護者 大島 香江

十一月十八日（火）、昨年のツアーに参加された保護者の方から「良かった」と聞いて、今回参加させて頂きました。

まずは、益田で土木会社といえば大畑建設です。会社の理念や、どの様な仕事をしているかなどお話を聞き、今年入社の人材の一人があまりに大人の前で堂々と話している姿に驚きました。

次に、益田民なら誰もが知ってるキヌヤさん。売り場しか行つた事のない私は「へえ、上はこんな感じになってるのか！」と、驚きました。あらためて違う目線で売り場を見ると、動線など色々考えてあるんだと感心しました。

最後に輝ららのさんぼ道さん。前を通るだけで中はどうなっているのか気にもした事になかった私は、入った瞬間のアットホームな感じに妙な安心感を覚え、お話を聞きながら、私の親もここに入れたいなあと純粋に思いました。昼食は、田吾作。とてもヘルシーで体が喜んでる様でした。

益田にもたくさん良い企業があり、今後の子供達の選択も色々あります。地元にも少しでも残り、益田市を盛り上げてくれると良いなと思いました。貴重な体験をした一日でした。



公開授業で見た、生徒たちの対話と成長
三年生保護者 秀浦 勇也

保護者十四名と他校教員十一名が参加した
二期の公開授業週間。PTA活動として、私
も授業を拝見しました。

教室では、生徒たちが自分の考えを深め、仲
間と意見を交わしながら学びを広げていまし
た。登場人物の心情を読み解く授業では、先生
の「正解はないから」という声かけが安心感を
生み、生徒たちは自分の言葉で思いを語って
いました。「今日は緊張している…」というつ
ぶやきが自然に出るほど、教室には温かな空
気が満ちていました。

もう一つの授業では、ジグソー法という協
調学習の手法が用いられており、生徒は場面
を分担して読み合い、それぞれが理解を深め、
互いに説明し合っていました。他者の視点を
取り入れながら考えを
再構築する姿に、学び
の力強さを感じました。
この手法は、思考力や
表現力だけでなく、協
働する力や自己効力感
も育てる学びとして注
目されています。教室
でのやりとりを通して、
生徒たちが自分の言葉
で世界を広げていく様
子に、保護者として胸
が熱くなりました。こ
のような学びが、これ
からも続いていくこと
を願っています。



イルミネーション設置作業に参加して
三年生保護者 長戸 政利

暖かな陽気に包まれた十一月三十日(日)、
生徒・教員・PTAによるクリスマスイルミネ
ーションの飾り付けを行いました。冬季のイ
ベントとして恒例行
事となりつつあり、
多くの参加者でにぎ
わいました。

作業は、生徒会が
事前に考えた飾り付
けのイラスト図をも
とに進行し、生徒た
ちは昇降口の前や校
舎近のフェンスや
植栽にLEDライト
を丁寧に取り付け、
相談し合いながら和
気あいあいと作業を
進めました。PTA
の保護者も配線整理
などサポートし、み
んなで協力して飾り
付けを完成させまし
た。また、来年度に
向けて飾り付けの参考になるよう資料を残し
たり、作業の様子を写真に撮って記録したり
と工夫する姿も見られました。

イルミネーションは十二月一日から点灯し
ています。冬の夕方を美しく照らし、学校に幻
想的な雰囲気をもたらすことで、生徒たちの
学校生活に明るい彩りを添えてくれること
でしょう。



令和七年度後期生徒会より
生徒会長 小笠原 加奈

後期生徒会では主
に、生徒会誌「ななお」
の編集や予餞会の企
画・運営、イルミネー
ーションの設置に取り
組みます。先日おこ
なったイルミネーシ
ョン設置は、みんな
で何度も話し合いを
重ねて作成した設計
図が、みんなの協力
で実際に形になっていく楽しさを感じました。
点灯した瞬間には、確かな手応えとともに、ほ
っとした嬉しさが胸に広がりました。

生徒会誌「ななお」の編集については、令和
七年の益田高校の「今」を丁寧に映し出し、温
かみのある誌面になるよう、生徒会メンバー
で協力して編集に取り組んで
いきます。

予餞会については、先輩方
への感謝を最大限届けられる
よう、昨年までの活動を参考
にしながら、今年らしい工夫
を取り入れたいと思います。

後期生徒会は、忙しい日々
々に少しでも彩りを添えるこ
とができるような存在を目指
し、活動していきたいと思っ
ます。これからもご協力よろ
しくお願いします。



令和 7 年 度 3 学 期 の 主 な 行 事 予 定

令和 8 年 1 月 行事予定	令和 8 年 2 月 行事予定	令和 8 年 3 月 行事予定
8 日 始業式 1、2年生国・数・英課題テスト	6 日 SSH 生徒研究発表会	1 日 卒業式
10 日 土曜補習④	7 日 3年希望者大学別模試演習	2、6日 2年生 進研マーク模試
17 日 土曜補習⑤	12 日 学年末試験時間割発表	3日 午前中授業 (高校入試準備)
17~18 日 大学入学共通テスト	18 日 振替休日・自習開放日	4日 生徒休業日 (高校入試)
19~20 日 2年生 進研記述模試	19日~25日	5日 生徒休業日
19日 1年生 進研記述模試	1、2年生学年末試験	16日 1・2年生 数学課題テスト
22日 1、2年生課題テスト	20日 第3回 PTA 役員会	19日 第3回避難訓練
31日 1、2年生希望者模試	27日 同窓会入会式・予餞会	24日 終業式・離任式
		26日 合格者登校日